

授業科目	科目概要・形式	配当年次	オンライン参加
看護管理学	2単位30時間(15コマ) 講義科目	博士前期1年次 後期開講	☑・不可
科目責任者	村上 眞須美		
担当者	村上 眞須美、上泉 和子 (非常勤)		
<p>1. 科目のねらい・目標</p> <p><ねらい> 看護管理学の基盤となる諸理論をふまえ、看護管理者あるいは高度実践看護師 (APN) として看護サービスや看護システムを変革するための知識を学び、変革の能力を養う。</p> <p><目標></p> <ul style="list-style-type: none"> ・看護管理学に関する諸理論を理解できる。 ・多職種とのコラボレーションにおける看護管理者あるいは高度実践看護師 (APN) の果たす役割について理解できる。 ・看護の質改善・安全管理を目指した変革の計画を立案することができる。 			
<p>2. 授業計画・内容</p> <p>下記の内容について、講義、演習、プレゼンテーション、ディスカッションを行う。</p> <p>第1回 (村上) 1. 看護管理学概論 (組織論) 1) 組織論の変遷 2) マネジメントの構成要素 3) APN の活用と看護管理者</p> <p>第2回 (上泉) 1. APN のコア・コンピテンシーと看護管理 1) APN としての役割を遂行するにあたり必要な看護管理の概念</p> <p>第3回 (村上) 1. 変革のマネジメント 1) 変革理論</p> <p>第4回 (村上) 2) 変革のための分析と変革計画</p> <p>第5回 (村上) 1. リーダーシップ 1) リーダーシップの理論</p> <p>第6回 (村上) 2) リーダーシップの事例 (プレゼンテーション、ディスカッション)</p> <p>第7回 (上泉) 1. Quality Management 1) 看護の質評価・質保証・質改善の概要 2) アウトカムの評価</p> <p>第8回 (上泉) 3) パフォーマンスの改善</p> <p>第9回 (上泉) 1. コラボレーション 1) コラボレーションの定義 2) 効果的なコラボレーションの特徴とプロセス</p> <p>第10回 (上泉) 3) 専門職間、看護管理者等とのコラボレーション</p> <p>第11回 (村上) 4) 多職種との協働・調整</p> <p>第12回 (村上) 1. 安全管理とリスクマネジメント 1) 安全管理の概念 2) 看護管理 (者) と安全管理・リスクマネジメント</p> <p>第13回 (村上) 3) 保健医療福祉施設等における安全管理・リスクマネジメントの実際</p> <p>第14回・第15回 (村上・上泉) プレゼンテーション、ディスカッション ・自分の分野における看護の質改善・安全管理のための変革</p>			

3. 教科書、参考書

【参考書】

Ann B. Hamric et.al／中村美鈴他監訳 (2017). 高度実践看護—統合的アプローチ. ヘルス出版.
ISBN-10: 4892699284

4. 成績評価方法

レポート (70%)、プレゼンテーション (30%)

5. 受講要件

特になし。看護師の免許を有することが望ましい。

6. 社会人学生に対する配慮

夕方以降の時間帯に開講する。開講日は履修者にあわせて調整する。また、オンラインによる参加については相談すること。

7. その他

事前に担当教員と連絡を取り、課題等の指示を受けること。
オンデマンドの実施はしない。